

**事業所名** グループホームほほえみの家  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 2月28日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 高等学校非常勤講師  
資格・経験 看護師、社会福祉士、福祉住環境コーディネーター  
B:現職 社会福祉法人生活指導員  
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

**講評**  
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・のどかな田園地帯の中に位置するグループホームであるが、南北に交通網が開けており、市街地はもとより高速道路や岡山市へのアクセスも良い。ホーム周辺の道路は交通量も少なく、日々の散歩等に活用できる。大学付属病院や商店も近く、生活の利便性も良い。
- ・職員は、入居者の意思を尊重した態度で接しており、どの入居者も若々しくのびのびと生活できているように感じた。入居者一人ひとりに目を向け、一人にしないことを心がけて支援している。
- ・開所以来、家族の協力もあり、2名の入居者の見取りを経験している。今後も希望があれば叶えて行きたいと考えており、この12月からは、カンファレンスに訪問看護師も同席するようになっている。
- ・職員は互いに協力し合い、切磋琢磨してサービスの質の向上に向けて努力している。働く環境も整えられており、休憩場所も確保されている。また、職員同士のコミュニケーションも図れており、意見も言いやすい環境であると感じた。管理者が、代表者と職員との良いクッション役になっている。どの職員も笑顔で挨拶をきちんと交わしており、接遇教育も行き届いていると感じた。
- ・見たい情報がどこにあるかすぐ分かるように、どの書類もきちんと整理されており、レベルの高さを感じた。

**特に改善の余地があると思われる点(記述)**

- ・昨年の外部評価を受けて、ヒヤリハット・行事報告書を作成し、サービスの質の向上につなげている。今回、特筆すべき改善点はなかったが、欲を言えば「たより」にスタッフのコメントや、介護面での役立つ情報なども紹介すれば、「たより」を見た方にさらに関心を持っていただけるのではないかと感じた。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者一人ひとりが、趣味や特技を活かして満足・充実感を持てる生活を送れるよう、個性を生かしたプラン作りをしている。</li> <li>・職員は、常に入居者に寄り添い、一人ひとりの思いを知り、個々の意見を尊重するように心がけている。</li> <li>・家庭的であることを目指しており、入居者と職員が信頼関係を築けるように心がけている。</li> <li>・職員全員が職場での「こころ」を育てられるよう、毎朝申し送り時には「お手伝いさせていただきますというこころ」「どういたしましてというこころ」「ありがとうございますというこころ」など、職場での七つのこころを唱和している。</li> </ul>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて生活できるよう、職員は入居者と居室でゆっくりお茶を飲んで過ごす時間を作っている。入居者同士も部屋を訪問し合い、一緒に楽しんだりお茶を飲んで過ごせるように支援している。</li> <li>・職員一人ひとりが、入居者との具体的な関わり方を検討し、成果を報告し合っている。</li> <li>・徘徊がある時には制止せず、付き添ったり、後ろからゆっくりついて行くなど、落ち着くまで見守りをしている。</li> </ul>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のベースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁縫が得意な入居者には、雑巾を縫ってもらったり、ボタンのほころびを直してもらったりしている。俳句が得意な入居者が読んだ俳句は、ホーム内に掲示している。以前、剪定職人だった方の免許状は、ホーム内のみんなの目に付く位置に掲示し、入居者の力や経験を尊重して活かせるように配慮している。</li> <li>・入居者のプライバシーに配慮し、「入浴時は他者が入ってこないように鍵をかけてゆっくり入れるように支援する、居室に入るときは声をかける、失禁時にはそっと誘導する、トイレ入室時はカーテンで目隠しをする、小声で対応する」などの配慮をしている。</li> </ul>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回以上、外部の研修に参加することを義務付けており、参加しやすいように配慮している。参加したら、報告書を提出し、全員に閲覧している。</li> <li>・昨年の外部評価を受けて、ヒヤリハット報告書や行事報告書を作成し、事故防止やサービスの質の向上に向けて、前向きに取り組んでいる。</li> <li>・どの職員も向上心があり、仲間同士で切磋琢磨している。ほとんどの職員が介護福祉士を目指して自己研鑽している。</li> </ul>		